

四					三				二				一										大	問
5	4		3	2	1	2			1	3		2	1	2	1								小	題
オ	(2)	(1)	ア	部活動に対して常に真剣だった里美が、いいかげんな答えを言ったから。	イ	(3)	(2)	(1)	ならわん	(2)	(1)	E	F	イ	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	正 解	
	里美が家族のために遠くはなれた高校に進学すると決めた事情を知らずに、自分勝手な考え方をしていた	うらめしく				エ	自分一人で学んだことを正しい と思い込む	ならひまなばんと思ふ心ざし		オ	一語				改革	完備	増(す)	勤(める)	ゆうぜん	よか	さと(す)	まぎ(れる)		
2	4	1	2	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	配 点	標 準
	同様の趣旨であればよい。			同様の趣旨であればよい。			同様の趣旨であればよい。								とめ、はねには こだわらず、字 体・字形が損な われていなければよい。									備 考

六	五						大	問
	5	4	3		2	1	小	題
	与えられた条件のもとで、述べられていること。	ア	(2)	(1)	エ	ウ	正 解	
6			個々のものももっていた微妙な差異	オ				
	言葉には実際に経験したことの一部しか伝えられない限界があるが、相手と経験を共有することで豊かな意味あいを伝える働きもあるということ。	2	1	2	2	1	配 点	標 準
	同様の趣旨であればよい。						備 考	

※部分点については、各校において統一した基準を設けて採点するものとする。